

みずほCustomer Desk Report 2025/01/14号(As of 2025/01/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	157.92	1.0243	161.68	1.2205	0.6154
SYD-NY High	157.96	1.0250	161.71	1.2236	0.6177
SYD-NY Low	156.92	1.0177	160.78	1.2128	0.6131
NY 5:00 PM	157.50	1.0246	161.02	1.2152	0.6176
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,297.12	358.67	日本2年債	-	-
NASDAQ	19,088.10	▲ 73.53	日本10年債	-	-
S&P	5,836.22	9.18	米国2年債	4.3898%	0.0085%
日経平均	-	-	米国5年債	4.6086%	0.0305%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.7892%	0.0269%
シカゴ日経先物	38,785.00	▲ 75.00	独10年債	2.5905%	0.0230%
ロンドンFT	8,224.19	▲ 24.30	英10年債	4.8850%	0.0500%
DAX	20,132.85	▲ 81.94	豪10年債	4.6500%	0.1220%
ハンセン指数	18,874.14	▲ 190.15	USDJPY 1M Vol	11.29%	0.58%
上海総合	3,160.76	▲ 7.77	USDJPY 3M Vol	10.79%	0.19%
NY金	2,678.60	▲ 36.40	USDJPY 6M Vol	10.55%	0.17%
WTI	78.82	2.25	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.17%	Yen Call Over
CRB指数	309.02	3.05	EURJPY 3M Vol	11.25%	0.46%
ドルインデックス	109.96	0.31	EURJPY 6M Vol	10.97%	0.29%

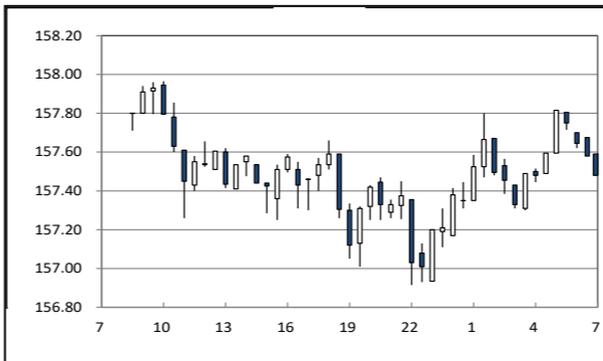
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月10日	14:00	日 景気一致指数・速報	11月 115.3	115.3
	16:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.2%/-1.1%	-0.1%/-1.3%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	11月 0.2%/-1.5%	-
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 256k	165k
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.3%/3.9%	0.3%/4.0%
	22:30	米 失業率	12月 4.10%	4.20%
1月11日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	1月 73.2	74.0
1月13日	12:00	中 輸出/輸入(前年比)	12月 10.7%/1.0%	7.5%/-1.0%
	12:00	中 貿易収支	12月 \$104.84b	\$100.00b
	12:15	欧 レン・ECB理事 講演	「ECBの利下げは理にかなっている」	

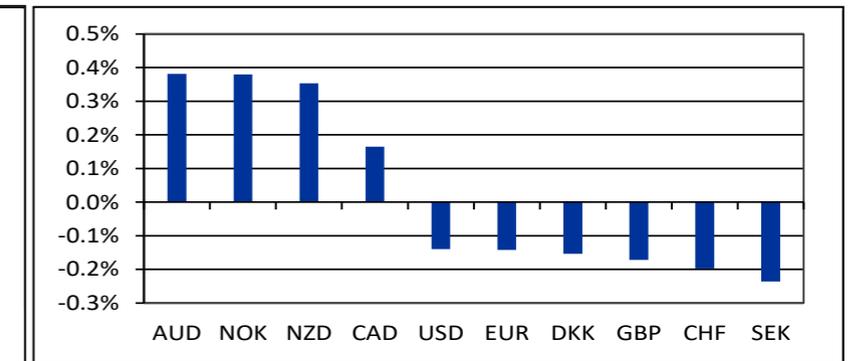
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月14日	8:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	1月 -	92.8
	10:30	日 氷見野日銀副総裁 講演	-	-
	16:35	欧 レン・ECB理事 講演	-	-
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	12月 0.4%/3.5%	0.4%/3.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.80-158.80	1.0170-1.0320	160.00-162.50

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は米雇用統計が強い結果となり一時158円台後半まで上昇。ただその後は米株を中心に株式市場が大幅に下落したことで、リスク回避の円買いから157.29まで値を戻した。昨日のドル円は前日までの流れを引き継ぎドル高円高地合いとなるも、序盤はやや円買い優勢となりじり安に推移した。その後は米金利、米株の上昇を横目に下げ幅を戻す展開となり、157.50でクローズ。  
先週の雇用統計の結果を受け、FRBの利下げ期待は大きく後退しており引き続きドル買い基調は継続すると考える。ただ本日は本邦時間に氷見野日銀副総裁の講演が予定されており、1月の会合における手掛かりが示された場合のドル円の下落リスクには注意したい。また米国時間には米PPIの発表を控えており、結果次第では値動きが大きくなる展開も想定される。

東京	アジア時間のドル円は157.92レベルでオープン。東京祝日で薄商いとなる中、先週金曜日の堅調な雇用統計を受けた円安の反動を受けてやや円が買われて157.25を付ける。157.51レベルで海外に渡った。
ロンドン	ドル円は157.51レベルでオープン。リスクオフの円買いが進み156.92の安値を付け、157.08レベルでニューヨークに渡った。ポントは1.2158レベルでオープン。先週金曜日に発表された堅調な米国の雇用統計を受けて、1月のFEDの利下げは無しと織り込んでいる市場参加者が多く、ドルは対ポントで堅調に推移し、1.2100から1.2169の間で取引され、1.2122レベルでニューヨークに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台後半でスタート。先週金曜日に発表された米雇用統計の内容を意識した米金利の上昇に伴い、157.97まで買われる。しかし、その後バイデン政権が対ロシア石油業界への新たな制裁実施や、米大手半導体企業へのAIチップ輸出規制案が発表されると、一転リスク回避の円買いが強まり、157.08レベルでNYオープン。午前中に発表された米24年度12月NY連銀1年先のインフレ期待が前回分の結果を上回ると、低下していた米金利が再度上昇する展開を横目に、157.81まで反発。午後は米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を抑え、終盤にかけては157.50付近まで反落し、157.50レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.02台半ばでスタート。先週の米金利の上昇や、ロシア石油業界へ新たな制裁が発表された事を警戒したリスク回避のドル買いが重しとなり、一時1.0177まで下落。その後は下げ渋り、1.0203レベルでNYオープン。午前中は独金利が低水準で推移する展開が重しとなり、1.02台ちょうど付近を挟んだ狭いレンジ推移。午後は終盤のドル売り地合いが支えとなり、1.0247まで反発し、その後1.0246レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。